

## 第35回 「三桮皮はぎから紙漉きまで」

令和8年1月31日(土曜日) 主催：安部榮四郎記念館

令和8年1月31日(土曜日)出雲民芸紙の製作工程を体験する「みつまた皮はぎから紙すきまで」を行います。

「みつまた」は和紙の原料となる木で、葉が落ちた寒い冬に収穫します。出雲民芸紙は、松江市でただ1つの手すき和紙を伝承しています。八雲町で栽培したみつまたを高さ170センチの大きな蒸し器「こしき」で蒸し、皮をはぐという、昔からの手法を体験します。

- ◆開催日時 令和8年1月31日(土曜日) 9:00~12:00
- ◆場所 安部榮四郎記念館 手漉き和紙伝習所(松江市八雲町東岩坂1754)
- ◆募集人数 大人・子供30名(先着順)  
小学生以上は保護者無しで参加可、小学生以下の方は保護者が必要です
- ◆参加料 無料
- ◆申し込み方法 1月29日(休)までにお電話で申し込みください  
☎ 0852-54-1745(火曜日休館)  
受付 9:00~17:00

◇作業内容(9:00~12:00)

- ・集合受付(集合前に釜の水を煮沸し、三桮を蒸しています。)
- ・DVD観賞、薪割・焚き付けなどを体験
- ・三桮の皮はぎ、竹べらで黒皮しじりを体験
- ・紙漉き体験・・・形ができる紙漉き・カード作りなどを体験  
漉いた紙は乾燥し持ち帰ります。

ご質問・お問い合わせは  
安部榮四郎記念館 電話 0852-54-1745

